

お客様 各位

メンテナンスマニュアルのご利用について

- 本メンテナンスマニュアルを利用しての修理や調整に伴う事故や破損、またはそれに伴う損害請求や第三者からの賠償請求については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このメンテナンスマニュアルは難易度の順に☆、☆☆、☆☆☆に区分されており、☆の数が多いほど、難易度が高くなります。難易度を参考にしながら、無理な修理を行わないようご注意ください。
- このメンテナンスマニュアルに記載の内容は、すべて株式会社ニチベイの該当商品についてのものです。他社商品のメンテナンスには使用できません。
- メンテナンスに必要な部品は、弊社製品を使用してください。

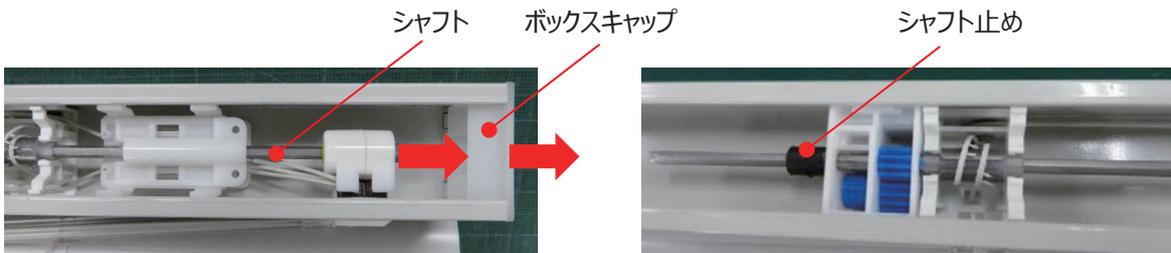


チルターの交換方法（ワンポール式）

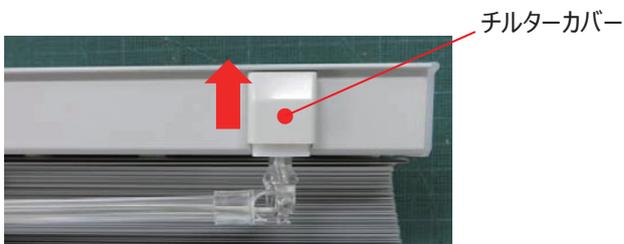
- 用意する部品：交換用チルター
- 用意する道具：ラジオペンチ、マイナスドライバー、セロハンテープ

◆交換方法は右操作の場合

- ① 商品右側（操作側）のボックスキャップを外し、シャフトを操作側へスライドさせて抜きます。その際、シャフトに付いているシャフト止め（ゴム）をずらし、取外してください。

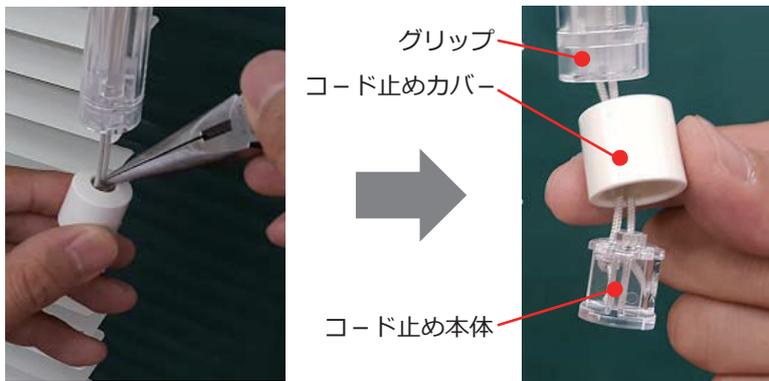


- ② チルターカバーを上方にスライドさせてチルターを取外します。

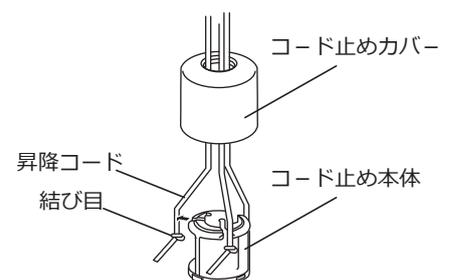


- ③ チルターから昇降コードを抜きます。

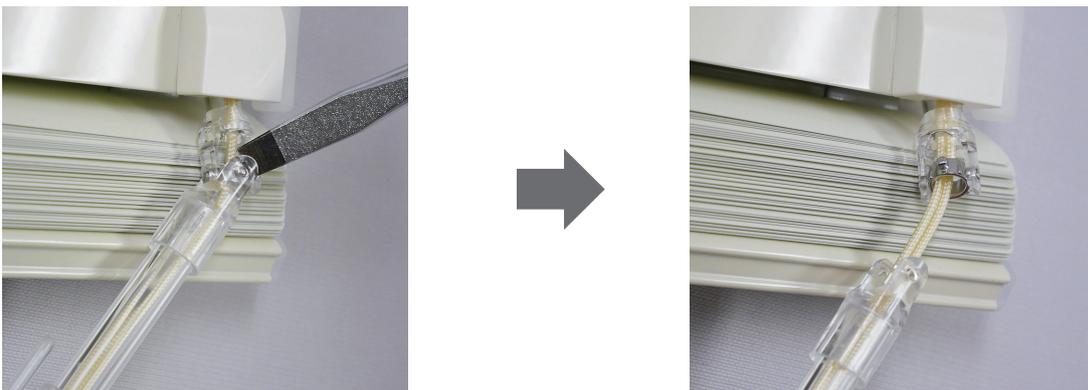
コード止め本体をラジオペンチ等で押し下げ、コード止めカバーから取外します。



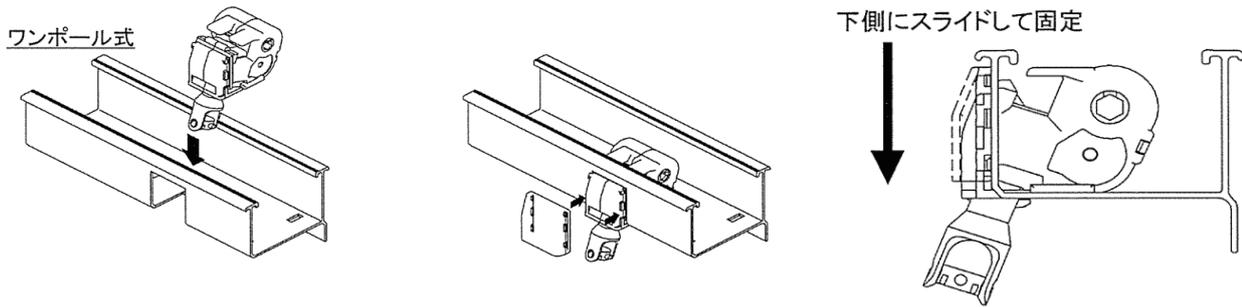
昇降コードをコード止め本体からすべて外し、結び目を解き、交換するチルターから昇降コードを抜いてください。



- ④ 操作棒を取り外します。マイナスドライバーを操作棒とチルターのジョイント部の隙間に差し込み、嵌合部を広げ操作棒を取外します。

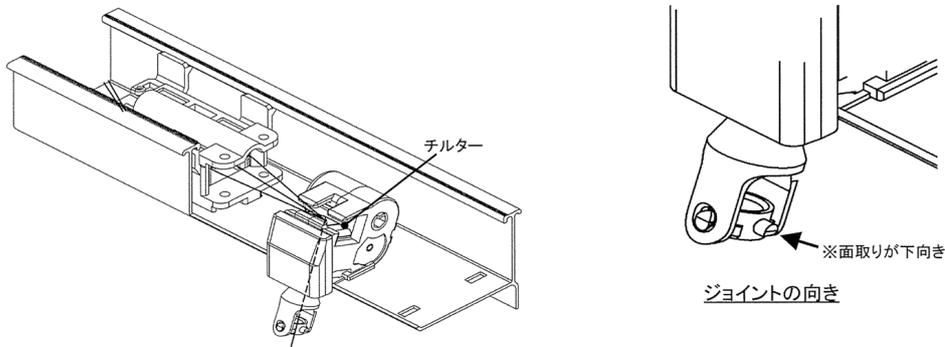


⑤ 新しいチルターに交換します。



⑥ チルターへの昇降をコード通します。

ストッパーを通過した昇降コードを絡みが無い状態でチルターのコードガイド部に挿入し、ジョイント部より引き出してください。

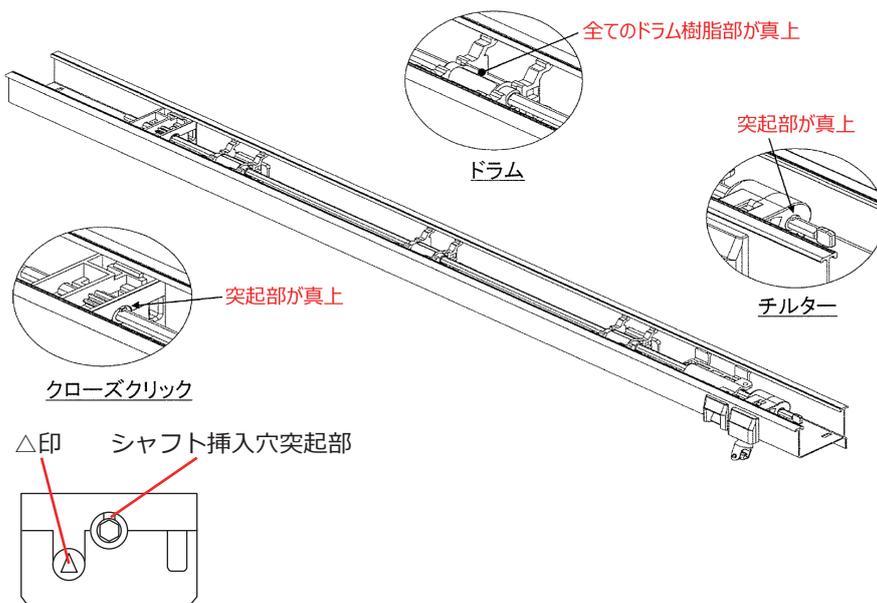


⑦ シャフトを元の位置に戻します。

その際、全てのドラムの樹脂部が同一線上(上向き)になるようにし、チルターのシャフト穴の突起部、及びクローズクリックの突起部を上向きにして、ドラム樹脂部とチルター突起部センターが同一線上となるよう注意しながらシャフトを通してください。

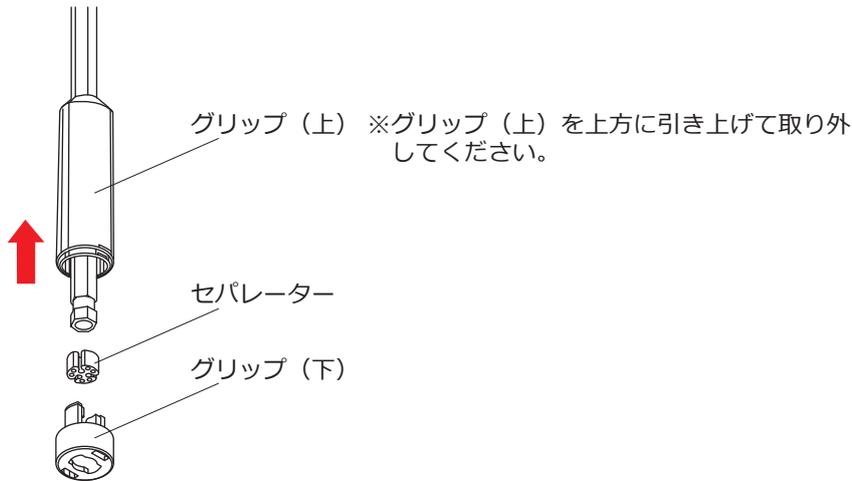
※クローズクリックは、シャフト挿入穴突起部と△印の頂点が真上になるように取付けてください。

シャフトを通し終わったら、シャフト止め(ゴム)をシャフトに差し込み元の位置に戻してください。



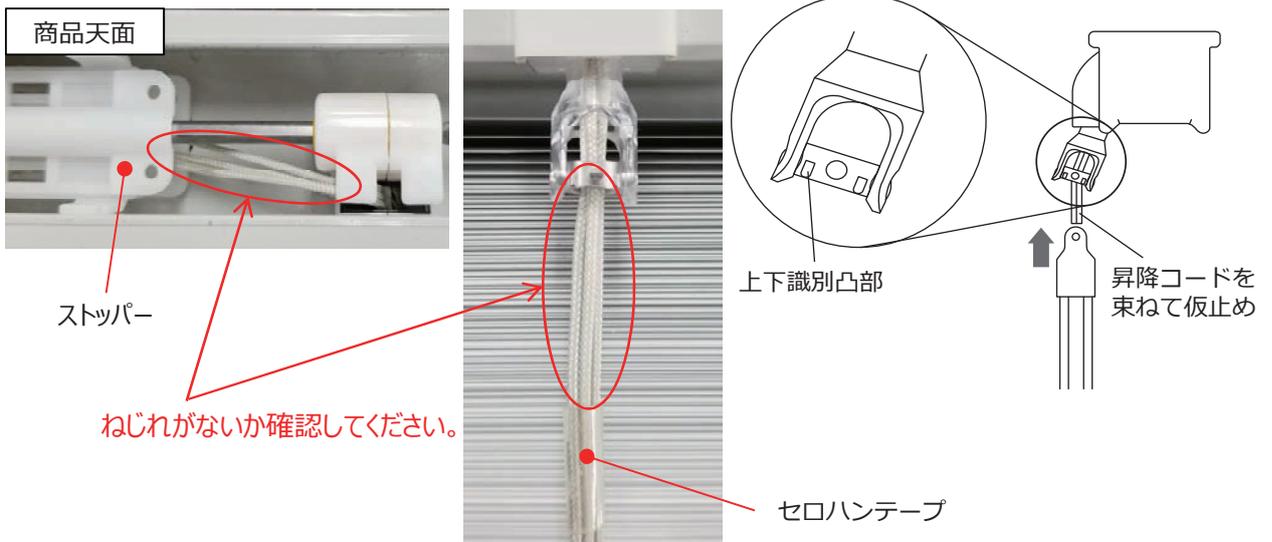
⑧ 商品右側(操作側)のボックスキャップを取付けます。

⑨ 操作棒からグリップ（下）とセパレーターを取り外します。

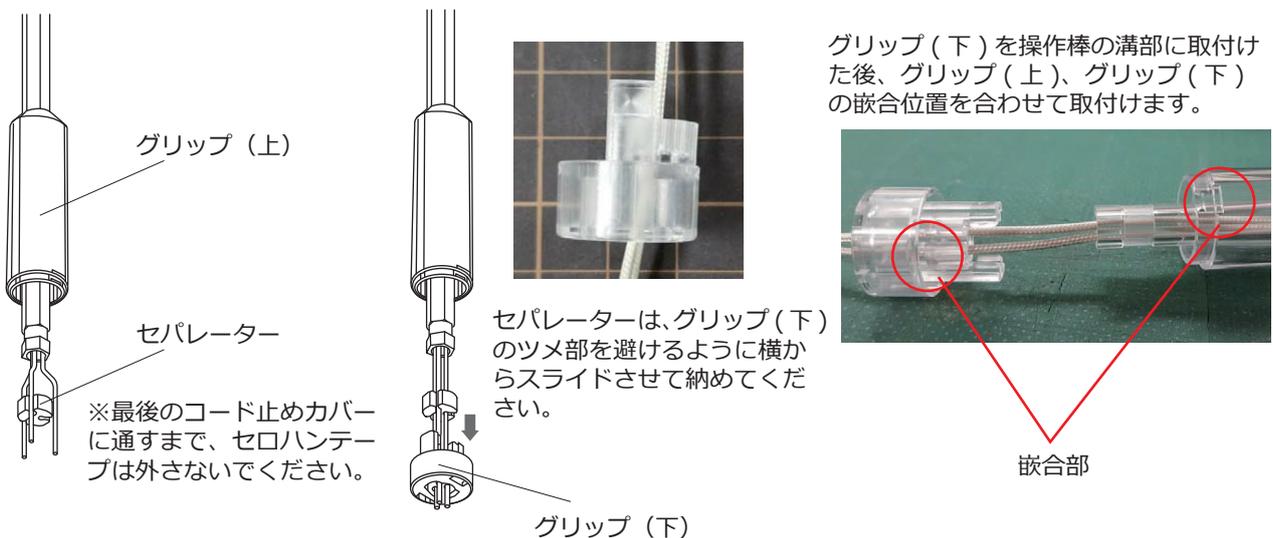


⑩ 操作棒に昇降コードを通します。

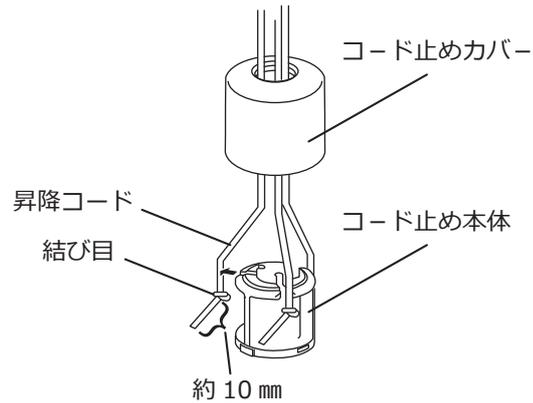
ストッパーから出た昇降コードがねじれない状態でチルターのジョイント部より出ていることを確認し、ねじれない状態で昇降コードの先端をセロハンテープでまとめて貼付け、操作棒のジョイント側より通します。その後、操作棒をチルターのジョイント部に取付けます。その際、チルターのジョイント取付部は、上下識別凸部が下を向いた状態で取付けます。



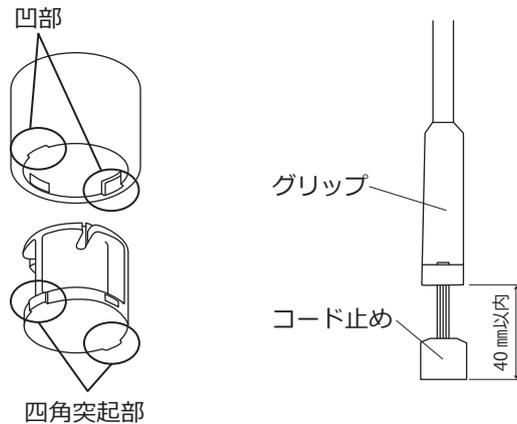
⑪ 昇降コードをセパレーター溝に絡みがないように通し、セパレーターをグリップ（下）納めます。



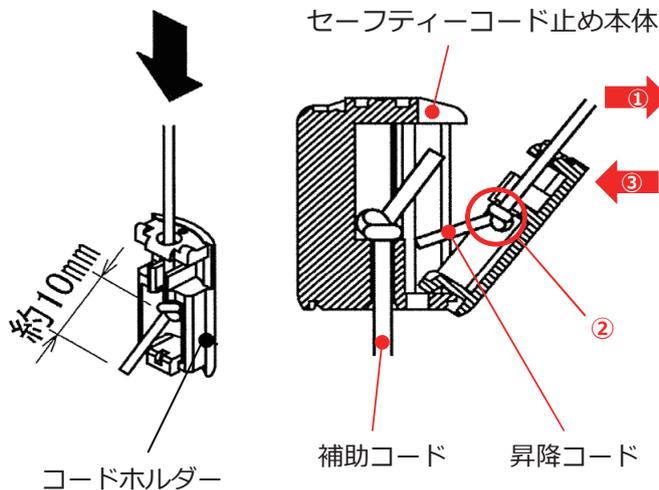
- ⑫ 昇降コードをコード止めカバーに通した後、結び目を作り、コード止め本体の溝に挿入してください。その際、グリップ(下)から排出された昇降コードの配置が入れ替わることなく、コード止めに取付けてください。



- ⑬ 結び目をコード止め本体に納め、コード止めカバーを「カチッ」と嵌合するまで嵌め込みます。その際、コード止め本体の四角突起部とコード止めカバーの凹部で位置合わせして嵌め込んでください。

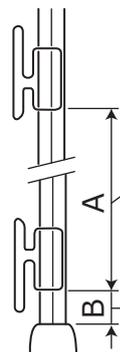


◆セーフティーコード止めの場合



- ① 昇降コードを外側に引張るようにして、コードホルダーを取外してください。
- ② 新しい昇降コード端部に結び目を作り、図のように新しい昇降コードを納めてください。
- ③ コードホルダー下のツメ部をセーフティコード止め本体下の四角穴に引っ掛け、コードホルダー上部分を横から押し込むようにして取付けてください。

- ⑭ コードフックを取付けます。



- A 寸法**
六角パイプの長さが
L = 150mmの場合、27mm (コードフックの短い爪同士が重ならない位置。
L = 300mmの場合、200mm
L = 500mm以上の場合、300mm

- B 寸法**
六角パイプの長さが
L = 150mmの場合、10mm
L = 300mm以上の場合、30mm